

「第40回記念市民なわとび大会」大会要項

- 1 主 旨 誰でも気軽に運動できる「なわとび」を通じ、市民の生涯スポーツ振興と健康・体力づくりを図る。
- 2 主 催 南陽市スポーツ推進委員協議会
- 3 共 催 南陽市 南陽市教育委員会
- 4 後 援 一般社団法人南陽市スポーツ協会 南陽市小学校長会 南陽市中学校長会
南陽市各地区体育推進員会
- 5 ゲ ス ト なわとびパフォーマー「ふっくん」(藤沢祥太郎さん)
- 6 日 時 令和6年12月7日(土) 午前 ※開閉会式は行いません
開 場 午前 8時00分
受付開始 午前 8時15分
開会宣言 午前 8時30分
競技開始(個人種目) 午前 8時45分
ゲストパフォーマンス 午前10時10分
競技開始(団体種目) 午前10時40分
終 了 正午(予定)
- 7 会 場 南陽市民体育館 メインアリーナ
- 8 種 目 個人種目 ○ダッシュなわとび ○親子とび
団体種目 ○みんなでジャンプ(1チーム 12名以上)
○8の字ダッシュ(1チーム 5名以上)
- 9 参加費 無 料
- 10 参加区分【表彰ごとの細区分となり、申込書の参加区分とは異なりますのでご注意ください】
 - ◎ダッシュなわとび
 - ①幼児の部 ②小学校低学年男子の部(1~2年) ③小学校低学年女子の部(1~2年)
 - ④小学校中学年男子の部(3~4年) ⑤小学校中学年女子の部(3~4年)
 - ⑥小学校高学年男子の部(5~6年) ⑦小学校高学年女子の部(5~6年)
 - ⑧中学校男子の部 ⑨中学校女子の部 ⑩高校・一般男子の部 ⑪高校・一般女子の部
 - ⑫壮年男子の部(40才以上) ⑬壮年女子の部(40才以上)
 - ◎親子とび
 - ⑭幼児の部 ⑮小学校低学年の部(1~2年)
 - ◎みんなでジャンプ(オープン)
 - ◎8の字ダッシュ
 - ①小学校の部 ②中学校の部 ③高校・一般・混合の部
- 11 表 彰 ダッシュなわとび：幼児、小学校、中学校の部は6位まで、
高校・一般、壮年の部は3位まで
親子とび：3位まで
みんなでジャンプ：6位まで
8の字ダッシュ：小学校の部は6位まで、中学校の部、高校・一般・混合の部は3位まで
各競技終了後、サブアリーナにて表彰を行います。
- 12 申込先 11月20日(水)必着で大会事務局(社会体育係)又は、南陽市民体育館、
各地区公民館に申し込みください。
「やまがたe申請」でも申込できます。
詳しくは市HPやチラシ(QRコード)をご確認ください。
- 13 その他 ①とびなわは主催者で準備しますが、内履きは必ずご持参ください。
②個人種目及び団体種目についてはそれぞれ1種目のみの参加となりますが、個人種目と
団体種目の重複参加は認めず。
③基本的な感染症対策を各自実施してください。体調が優れない場合は無理をせず、健康に
十分注意して参加してください。

< 大会事務局 >

南陽市スポーツ推進委員協議会事務局：市教育委員会社会教育課 社会体育係
電話40-8990

競 技 規 則

◎ダッシュなわとび

- (1) 競技時間内に跳んだ回数で順位を決定する。二重跳び以上は認めない。記録が同数の場合、同順位とする。
- (2) 試技回数は1回とし、とびなわに付いたカウンターで回数を測定する。正しく測定されてない場合、審判が跳び直しを指示し、2回目の試技の結果を記録とする。
- (3) 競技時間は次のとおりとする。
 - ① 幼児の部 20秒
 - ② 小学校低・中学年の部、壮年の部 30秒
 - ③ 小学校高学年の部 40秒
 - ④ 中学校の部、高校・一般の部 60秒

◎親子とび (親子で1本のとびなわを使い、向かい合い、または同じ方向を向いて跳びます。)

- (1) 競技時間内に跳んだ回数で順位を決定する。記録が同数の場合、同順位とする。
- (2) 試技回数は1回とし、とびなわに付いたカウンターで回数を測定する。正しく測定されてない場合、審判が跳び直しを指示し、2回目の試技の結果を記録とする。
- (3) 競技時間は次のとおりとする
 - ① 幼児の部 20秒
 - ② 小学校低学年の部 30秒

◎みんなでジャンプ

- (1) 1チームの人数は、回旋者2名を含む12名以上とする。
- (2) 試技は2回行い、多い方の回数がチーム記録となる。ただし、1・2回目とも記録が3回以内で終了した場合は、救済措置として3回目の試技を認める。
- (3) チームの最高記録で順位を決定する。記録が同数の場合は、1・2回目の回数の合計で決定する。
- (4) 跳躍者・回旋者ともに、他チームへの重複参加は認めない。

◎8の字ダッシュ

- (1) 1チームの人数は、回旋者2名を含む5名以上とする。
- (2) 練習時間30秒、競技時間1分間とし、競技時間内に跳んだ回数で順位を決定する。記録が同数の場合は、1・2回目の回数の合計で決定する。
- (3) 跳躍者・回旋者ともに、他チームへの重複参加は認めない。
- (4) 1回旋につき跳躍者は1人までとし、跳躍者全員が順番にとぶ。跳躍者が縄に引っかかった場合は次の跳躍者からとする。
- (5) 区分について、跳躍者の全員が小学生、中学生の場合をそれぞれ小学校の部、中学校の部とし、その他の場合を高校・一般・混合の部とする。各区分において、回旋者は問わない。
- (6) 競技開始前に、審判の合図を受けて回旋者はなわを回し始める。
- (7) とびなわは、持ち手(グリップ)を持って回す。なわを手に巻くなどして短くしてはならない。
- (8) とびなわは、主催者が準備した6mのものを使用する。